

たたかう教職員組合運動の土台を築いた日高教の 23 年 新しい全教のもと、子どもと教育を守る運動の新たな飛躍を

組合員、教職員、ともに力を合わせていただいたみなさん、ありがとうございました

2014 年 3 月 31 日

日本高等学校教職員組合 中央執行委員会

全国の日高教組合員のみなさん、教職員・父母のみなさん、ともに力を合わせて運動をすすめていただいたすべてのみなさん。

日高教は、2014 年 2 月 14 日に開催した第 30 回定期大会において、全教との一体化を決定し、連続して行われた全教第 31 回定期大会で必要な手続きが行なわれました。これによって、日高教は 3 月 31 日をもって解散し、2014 年 4 月 1 日から新しい全教がスタートします。日高教中央執行委員会は、これまでの日高教に対するみなさんのご理解とご支援に対して、あらためて心から敬意を表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。

日高教は、全国 100 万教職員と国民の期待のもとで、1991 年 3 月 5 日に結成され、ただちに全国私教連とともに全教に合流しました。以来 23 年、日高教は高校教職員組合の全国組織であるとともに、全教運動の重要な一翼をにない、全教と一体的に運動をすすめてきました。

この間、日高教・全教は、幅広い国民のみなさんと共同しながら、40 人学級実現・教育費の父母負担軽減、私学助成拡充をめざす公私共同・父母共同の国民運動、憲法改悪反対とむすんだ教育基本法改悪反対の大運動、公務員賃下げに反対する官民・地域共同の運動、核兵器廃絶をめざす国内外の運動をすすめてきました。

また、日高教独自には、貧困・格差から子どもと教育を守る一大全国運動へと発展した高校生の修学・就職保障を求める運動、無償化時代の高校教育のあり方を探究した高校教育研究委員会の活動、そしてその土台の上に結実した「無償化時代にふさわしい高校教育政策への日高教の提言」、上部組織の所属の違いを超えて要求の一致点で共同する高校組織懇談会の運動などをすすめてきました。

これらの日高教・全教の一体となった運動は、全労連に結集し、教育反動攻撃と真正面から対決してたたかう教職員組合運動の土台を築いてきた 23 年間でありました。日高教は、こうした 23 年間の運動の到達をふまえ、教職員組合全国組織の運動の飛躍をめざし、全教と一体化することを決定しました。

2014 年 4 月 1 日から新しい全教がスタートします。日高教の 23 年間のたたかひの歴史と伝統は、余すところなく全教運動に継承されます。日高教と一体化した新しい全教は、激動する情勢のもと、国民的な共同の運動で安倍政権の「戦争する国づくり」、「教育再生」攻撃を打ち破り、憲法が生きる学校・教育と社会を確立するために、ますます大きな役割を果たすことを確信するものです。

新しい全教に対する、みなさんのいっそうのご理解、ご支援をお願いして、あいさつとします。